



生野高校  
77期 2年

## 学年通信 悉い有

第40号 (2023年10月11日)

大阪府立生野高等学校  
大阪府松原市新堂1-552  
072-332-0531(学校代表)  
072-332-0712(学年直通)

【学年通信は保護者の方にも見せてください】

### ◆生徒が主力！学校見学会

コロナ禍で簡略化されていた生野高校の学校見学会。今年度10/14(土)・11/11(土)は、4年ぶりにコロナ前の形式に戻しての開催です。第1部は、体育館で中学生・保護者に対して生野高校を説明する全体会。ほとんどの説明が生徒主体で行われます。第2部は模擬授業または部活動体験。模擬授業は各教科の先生が担当しますが、部活動体験は各部活動で引き受けますので、当然ながら生徒主体で行われます。もちろん各部の主力は2年生！保護者の方は、その間に教員による、より詳しい学校説明を聞いてもらっています。

この他に、第1部の体育館の座席案内も生徒が分担、第2部への誘導も生徒が分担。しっかりと説明出来る姿、きっちりと誘導する姿、部活動での面倒見——そうした活動する生野生の姿を見て、自分もこんなふうの説明し、こんなふうに動ける高校生になりたい！と思ったことが志望の決め手になったという話は、これまでたくさん聞いてきました。これらの経験は、大学に進んでからもイベントを仕切るなど様々な場面で生きてくる経験なので、ぜひ積極的かつ責任感をもって、のぞんでください。

見学会に直接は関わらない人もいるでしょうが、下校に際して、学校の敷地内や校門付近で見学会参加の中学生・保護者の方を見かけたらずい挨拶をしてください。“そんなことをしても、自分には何のメリットもないのに…”と知っている人はいませんか？とんでもない。「そういう時に、ちゃんと“挨拶＝受入れ姿勢”を示せる自分になれる」というメリットがあります。最初は「学校の先生に言われたからやっている」で結構。そのうちに、ちゃんと自分でスイッチを入れられるようになります。そして、適切なタイミングで適切な姿勢を示せるということは、皆さんが思っている以上にずっと、社会におい

て高く評価されることなのです。

学校見学会では多くの見学者が来校し、校内各所を使用します。部活動体験や模擬授業で教室も使用します。このため、皆さんの持ち物の管理に留意してください。基本は私物撤去です。机や教室に私物があふれていると、見学者の荷物の置き忘れ、または逆に、生野生の私物を誤って持ち帰ってしまうという事態が生じかねません。その場に元から私物がなかったならば、その場にある荷物は全て見学者が持ち帰るべきものであり、置き忘れのリスクも、逆に生野生の荷物を持ち帰ってしまうリスクもなくなります。また、部活動体験では、参加する中学生に対し、荷物を活動場所へ確実に持参するよう、各部活動・同好会において責任をもって促してください。更衣が必要な活動では、くれぐれも更衣室に荷物を置いていくことのないように（これは生野高校の基本原則です！）。

ところで、皆さんの普段の持ち物の管理のことですが、特に貴重品類について、もっと意識的に下足ロッカーを活用してほしいと思っています。また、そのためにはロッカーに鍵をかけておきましょう。修学旅行に向けて私物管理への意識を高め、具体的な行動が取れるように努めてください。

### ◆1ヶ月をどう使っていくか。

8/21(月)の学年集会と、同日付の学年通信第36号で、「8月・9月の組み立て方」「時間の使い方を組み立てて取り組む」という話をしました。高校生活折り返し地点の1ヶ月間、どのタイミングで、何のために、どれくらいの時間を使うのかを、考えながら実践することは出来ましたか？

1日単位、1週間単位、数週間単位…と、スパンの設定は様々で、全てのスパンにおいて詳細に予定を決めることは現実的ではありません。

しかし、高校生活後期の入口にあたり、少なくとも1ヶ月単位の組み立ては考えてください。10月初週で、前期期末考査の答案はほぼ全て返却されたはずですが、では、解き直しは進んでいるのでしょうか。その成果をチェックする機会が、10月末に設定されています。10/27(金)の全統高2模試です。前期期末考査時にちゃんと習得出来ていなかった部分を、解き直しによって自分の中に入れ直し、次＝模試こそは、その部分を習得出来たと手ごたえを得る。しかし、模試で新たに習得出来ていない部分（または、以前から習得出来ていなかったままの部分）が明らかになったらならば、解き直しによって習得に努め、その成果を11月末の後中間考査によってチェックする。10月をどう過ごすか。11月をどう過ごすか。修学旅行を経て、12月＝2023年最後の1ヶ月をどう過ごすか。絶対に2024年には持ち越さないぞ——と、今年中に何を習得し切るべく努めるのか。

実際にやってみて、自分が組み立てた通りに取り組めなかったとしても、それは大した問題では（止むを得ません）。困るのは、取り組んでいない・やってないが故の“出来ていない”です。同じ“出来ていない”でも、両者では意味も効果も異なります。点数としては、同じ“出来ていない”結果に終わった場合であっても、前者は“この形・この期間・このペースでは出来ていないになる”ということをつかむことが出来ます。10/5(木)の学年集会でも、「いま“受験勉強”が出来ていないとしても、“勉強の習慣”は出来ていなければ」という話がありましたね。自分に必要な形・期間・ペースが、そろそろ構築されてこなければならぬ時期を迎えています。その感触をつかむところから3年生を迎える人と、既につかんでいて、あとはそのサイクルを回していくことに専念出来る人とは、到達地点に大きな差が生まれてきます。

まずは、この10月を何のためにどう使いますか？そのためには、何から着手しますか？

## ◆当面の予定

- 10/12(木)午後 2年人権講演会
- 13(金) 65分授業×5 + 大掃除
- 14(土) 65分授業×3 + 学校見学会
- 15(日) 2年駿台ハイレベル模試
- 16(月) 学校見学会代休日
- 17(火) 60分授業×5 (会議のため)
- 19(木) 前期成績個票 配付予定
- 21(土) 大阪サイエンスデイ 1部
- 25(水) 5限 自治会役員選挙 + 主権者教育
- 26(木) A木1～4 + A水5 (70分授業×5)
- 27(金) 河合塾・全統高2模試